

つなぐ

ふるさと宇和島／南予

夏号

2026 No.35

ご自由にお取りください



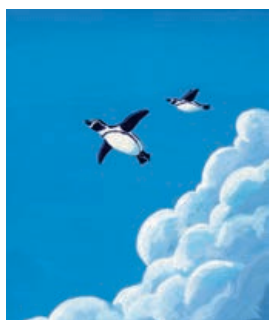
特集

愛南町 内海

● インタビュー ゆらり内海 社長 深堀 毅「一隅を照らす」

C o n t e n t s

- 01 エッセイ 「母なる海」 ローゼン千津
- 02 インタビュー ゆらり内海 社長 深堀 毅 「一隅を照らす」
- 04 愛南町 内海 ゆらり内海
- 05 特 集 「愛南町 内海」
 - o6 「古代から海とともに歩んできた内海」 愛媛大学地域協働センター南予 副センター長 大本 敬久
 - o8 「内海あれやこれや」 愛南町教育委員会 生涯学習課 課長 織田 浩史
 - 12 「由良半島の段ばた」
 - 14 「須ノ川で遊ぼう」
- 15 撮り歩きなんよ 「由良半島の夕焼け（愛南町）」 写真家 北濱 一男
- 16 ジャズシンガー 情家みえ
- 18 文ちゃんどつぽの
予土線のあの人に会いたい 16 アートセンター画楽 代表 上田祐嗣さん
いのちのはなし
22 グーチヨキバー 16 「四国霊場 第42番 佛木寺さん」 毛利 弘子
- 23 南予の祭り歳時記 土居の御田植行事（西予市） 愛媛大学地域協働センター南予 副センター長 大本 敬久
- 24 医 療 「健康診断の大切さについて」 沖内科クリニック 副院長 沖 良隆
- 25 食めぐり 「野菜を食べて元気アップ！」
管理栄養士 相橋ソムリエ シーフードマイスター 和田 広美
- 26 お気楽俳句 小野 更紗 / （絵） 律川 エレキ / おすすめ本 岩崎書店
- 27 つなぐ美術館 ベにばら画廊 / アトリエぱれっと GARO.
- 28 うわしん若手経営塾OB 若だんな㊸ お食事処 なにわ 代表取締役 足立ゆかり
- 29 斗酒百篇 / 4コマ漫画「きさいやくん」



表紙 / 「空も飛べるはず」
作 / ありま三なこ

プロフィール

1987年生まれ 愛媛県宇和島市出身
子供の頃から絵を描くことが好きで、大学の卒業制作で、しかけ絵本を作り、それから絵本に興味を持つ。2016年第8回 be 絵本大賞受賞、絵本作家デビューを果たす
現在は個展やイベントへの出品等で活躍中



ムラサキカタバミ

撮影／北濱一男



つなぐ夏号 No.35

〒798-0041 宇和島市本町追手 2-4-10

0895-23-7000

年4回発行（季刊誌）

配布先 / 宇和島信用金庫各営業店ほか

発行 / 宇和島信用金庫

編集・構成 / 総務部 川尻純滋

本誌掲載内容の無断転載を禁じます

この写真は、私たち姉妹の曾祖父が内海村家串に建てた最初の郵便局です。若宮神社の幟が立っていますから、秋祭りの日でしょう。同郷の句友が、「局の前の海端で亥子石^{うへこいし}を洗ひよったですね」と。そういえば正月のお飾りや橙^{たちだい}も、波打ち際で焼いていました。集団登校に遅刻した私が前ばかり見て走り、道端から海へ落ちてしまった事もありました。夏休みになると、防波堤に立つ旗の色を見てお宮の浜へ泳ぎに行ったものです。

白旗を見て駆けてゆく夏の潮

千津

赤旗の向こうに野分雲たてる

千津

防波堤から飛び込み、局の前の「ずべり」から伝馬船の間をぬい、朝も夕も泳ぎました。寝巻きのまま真珠いかだの先端で小アジを釣り、やす、で、ハゲ、を突き、浅瀬で、亀の手、を採集し、入江の洞穴で錆びた穴あき銭の詰まった甕^{かめ}を発見する。村境に吊られた大草鞋を見て巨人の空想に耽り、盆過ぎの海で足を引っ張る海坊主を心底畏れる。そんなわくわくする子ども時代を、内海村の海がくれたのです。

最近、母の命日のお墓参りに家串の泉法寺^{ほうじ}へ行きました。寺山の桜には少し早かったのですが、遠くから手を振っているような春の波と、境内の小石の隙間か

母なる海

ローゼン千津



ら青々と咲き出す菫^{すみれ}の花と、風にふるえる桜の芽と、全てが母の笑顔に重なって見えました。晩年の母が最も恋しがったのも家串の海だったのではないのでしょうか。家串に同居してあげることが叶いませんでしたが、その代わり、広々とした貯水池のさざ波が窓の下に打ち寄せる、ぐるつぷほうむ、を見つけました。「ニツク」こと、私の夫ナサニエル・ローゼンは、そこで母と一緒に蜜柑を食べ、歌って、踊って、ほっぺにキスして、母を幸せいっぱいに笑わせてくれました。

天道虫焼香の背を昇りゆく

千津

今年の八月十日、ナサニエル・ローゼンが東京サントリーホールで演奏会を開きます。私と姉夏井いつきの俳句の師、黒田杏子先生を追悼するコンサートなのですが、母もあの世で一緒に聴いて欲しいと願っております。



ローゼン千津 ろうぜんちづ

(株) 夏井&カンパニーライター。いつき組組員。
チャイコフスキー国際音楽コンクール金メダルチェリスト、ナサニエル・ローゼンの妻。
松山市道後伊月庵の隣に住む。
夏井いつきと共著『寝る前に読む一句、二句。-クスリと笑える、17音の物語』
『食卓で読む一句、二句。お腹がぐうーと鳴る、17音の物語』(株式会社ワニブックス)
『五七五と出会った子供たち』(株式会社春陽堂書店)等。

ミセス・ローゼンの上人坂日記
<https://ameblo.jp/mrsrosen-haikudiary2025/>



ナサニエル・ローゼン公式ウェブサイト
<https://nathanielrosen.net/>



「一隅を照らす」 愛南町の一隅から、笑顔の光を届けたい

ゆらり内海 社長 << FUKABORI TSUYOSHI 深堀 毅

愛媛県の最南端に位置する愛南町。同町で長年愛され続ける観光施設「ゆらり内海」で社長をされている深堀毅さんにお話をうかがった。

「ゆらり内海」は、足摺宇和海国立公園・須ノ川公園に隣接し、眼前には豊かな自然が広がる。深堀さん曰く、「愛南町の魅力を引き出し、地域の方々に愛され、県内外から訪れる皆さんから『来てよかった』と心から喜んでいただける観光施設にしたい」と語る――。

この言葉通り、「ゆらり内海」は、徹底した「地産地消」にこだわり、地域の食材や資源を活かした施設づくりは、多くの利用者から支持されている。

愛南町柏出身の深堀さんは、幼い頃から絵を描くことが大好きで、映画館絵師だった叔父（アクアリウムアーティストとして活躍する玉神輝美氏は従兄弟にあたる）が大きな看板をフリーハンドで描き上げる姿に憧れ、将来は絵の道に進みたいと夢見ていた。

しかし、深堀さんが16歳のとき、父親が他界したことで生活は一変。絵の道は諦めざるを得なくなった。高校卒業後は松山で就職し、その後、地元へUターン。平成15（2003）年に旧内海村が「ゆらり内海」をオープンさせた半年後、深堀さんは公募を経て、同施設の副支配人に採用

され、「ゆらり内海」でのキャリアをスタートさせた。

そして、翌年10月、南宇和郡の4町1村が合併して愛南町が誕生すると、町内3施設を統括する支配人の下で「ゆらり内海」の副支配人に就任した。

そして、オープンから3年後、多忙な日々を送るなか、愛南町が指定管理者制度を導入することになり、当時39歳の深堀さんは大きな決断を迫られることになる。

①「指定管理者として自分で経営する」②「雇用されて残る」③「辞める」という三つの選択肢を前に激しく悩んだ末、最終的に選んだのは「愛着ある施設と地域を守り、発展させていく」という挑戦の道だった。地元の同級生5人から応援と協力を得て会社を設立。「ゆらり内海」を社長として舵をとることとなった。

初の社長業は、運営管理はもちろん、スタッフや調理人との関係づくりなどまさに手探りだった――。「そもそも私は社長の器じゃないんですよ」と、笑って振り返るが、社長に就任した1年目は、プレッシャーで体重が激減したという。

設立から13年目を迎えた頃、周囲の協力もあり、原点でもある「地元の特産品を使った産業振興」を、より深く追求するために独立して経営する事を決断し、現在、10年目を迎える。

深堀さんに「ゆらり内海」の魅力を聞くと――、

「まず、温浴施設は、愛媛県内でも数箇所しかない貴重な『潮湯』で、近隣の海洋資源開発センターから特製のフィルターでろ過した綺麗な海水を陸送しているので、身体の中から温まるお湯となっています。また、地域の美食が詰まったメニューも自慢で、地元の小学生が考案しロングセラーとなっている『タイレッツ丼』をはじめ、水揚げされた、その日のうちに港へ戻る高鮮度の『日戻りびやかつお』やブランド鶏『媛つこ地鶏』、『媛スマ』、『愛南産真鯛』『ひおづぎ貝』など、美食家を唸らせる愛南町の恵みがずらりと並びます」。

こうした地域の魅力を惜しみなく提供する一方で、「私自身のレベルを高め続けなければ従業員や施設は成長しません」と、経営者としての歩みにも実直だ。

「近い将来、高速道路が愛南町柏まで延伸されます。その日に向け、須ノ川公園とさらに連携を深め、お客さまを迎え入れる準備を整え、愛南町を代表するスポットになれたらと思っています」と語る。

多忙を極める深堀さんにとって特別な時間があるという。昨年から宇和島市内の絵画教室「アトリエぱれつとのろ」に通いはじめた。一度は手放した創作への夢が、長い時を経て、再び繋がったのだ。

「絵を描いていると、自分自身と静かに向き合い、心を落ち着かせられるんです。そこで培われる感性や想像力が日々の経営やお客さまに感動をお届けするアイデアにも生きています。いつか個展でも開催できればいいですね」と笑う。

最後に、今後の展望を聞いた。「天台山の開祖・最澄の言葉に『一隅を照らす、これすなわち国宝なり』というものがあります。観光は『光を観る』と書きますよね。私たちは愛媛県の愛南町の小さな一隅に位置する施設ですが、だからこそ、ここでしか放てない強い光があるはず、これからも地域と訪れる人々を照らしていきたい」と話す。

「人生に超えられない壁はない」と前を向く深堀さん。地域への貢献と後継者の育成を見据えながら、自身のキャンバスと「ゆらり内海」の未来に夢を描き続けている。

須ノ川は、宇和島から車で約30分、昔からドライブコースとして親しまれてきた身近な存在だが、高速道路の延伸など「ゆらり内海」を取り巻く環境は厳しい。深堀さんが言われるように、愛南町の豊かな食材と素晴らしい自然美を生かして、一隅を照らす存在となつてほしい。

インタビュ・構成／川尻純滋



〈プロフィール〉——
1964 年生まれ 愛南町柏出身



ゆらり内海

須ノ川海岸の紺碧の海とともに、極上の癒しを

お風呂



愛南町家串の海洋資源開発センターから、40ミクロンのフィルターでろ過された海水を陸送しています。この天然の海水にはミネラルが豊富に溶け込んでおり「新陳代謝」「保湿効果」「美肌効果」などさまざまな効果があります。

■お風呂

営業時間 11:00 ～ 21:00（札止め 20:30）

定休日（水曜日・元旦）

ご利用料金

- ・一般 550 円・65 歳以上のお客様 400 円
- ・障害者手帳をお持ちのお客様 400 円
- ・中学生 400 円・小学生 300 円
- ・未就学児 150 円（3 歳以下無料）

※諸物価高騰により 7/20 より 100 円値上げする予定です

お食事



大自然を食らう

太平洋と宇和海の 2 つの海と背後には里山に囲まれた愛南町。豊かな自然が育んだ材をふんだんに使って、愛南町ならではの産地メニューをご用意しました。見た目も美しい料理の数々をどうぞ。

■レストラン

ランチタイム（平日）11:00 ～ 14:00

（日祝）11:00 ～ 14:30

ディナータイム 17:00 ～ 20:00



ショップ



黒潮流れ入る愛南の海で育まれたヒオウギ貝を使用したランプシェードや小物雑貨、ゆらりアイスや獲りたての農産品など、愛南町の特色溢れる産品を中心に提供しています。



ゆらり内海

〒798-3703 南宇和郡愛南町須ノ川 2 8 6

☎0895-85-1155

営業時間：11:00 ～ 21:00 定休日：水曜日

特集 内海

由良半島より愛南町西海方面を臨む
手前の小島は小猿島、左奥は鹿島

古代から海とともに歩んできた内海



須ノ川より由良半島を望む。中央は塩子島（しおこ）、その奥が由良半島、半島の左は小猿島（こざる）、写真左は塩小島黒渚（くろばえ）灯台

広大だった内海村の領域と再編

内海村（現・愛南町）は、愛媛県の最南端である南宇和郡に位置した地域である。宇和海（豊後水道）に面したリアス海岸が続く風光明媚な地域であり、背後には山々が迫る険しい地形を持つ。古くから豊かな海の恵みを活かした水産業が盛んであり、近代以降は真珠やタイ、ハマチなどの養殖業が大きく発展した。平成16（2004）年10月1日、周辺の御荘町、城辺町、一本松町、西海町と合併し、現在は愛南町の一部となっている。

現在の愛南町域は、江戸時代には宇和島藩地方支配の行政区画である十組の一つ「御庄組」に属していた。その御庄組内での村浦として「内海浦」「須ノ川村」「柏村」があり、内海浦では實藤家が庄屋を務め、須ノ川村も實藤家が兼務していた。また、柏村では宮下家が庄屋を務めていた。

興味深いのは、当時の内海浦の範囲が旧御荘町域にまで広がっていた点である。江戸時代の「内海浦」は現在の内海地区にとどまらず、広大な海岸線を管轄する一大漁村であった。内海浦の實藤家は、御荘町域の深泥浦、坊城成川浦、平山浦の庄屋を兼ねており、その支配領域は旧内海村から御荘町の海岸線の大部分を占めていたことになる。

明治22（1889）年の町村制施行（実施は翌23年）に伴い、それまでの広大な「内海浦」と、宿毛街道の要衝であり農業主体の独自経済・交通基盤を持っていた「柏村」とが合併し、自治体としての「内海村」が正式に成立した。この性格の異なる「浦（海）」と「村（陸・農）」が一つに組み合わせられたことは、明治期における内海村の大きな出発点となった。

戦後の昭和23（1948）年、内海村は地理的条件や生活圏の差異から大きな分村問題に直面する。南部の一部集落が分離を望み、内海村に属していた平山と深泥の2集落が隣接する御荘町へ編入された。同時に、中浦や赤水など、それまで内海村の南部を構成していた地域が分離し、新たに「南内海村」が成立した。その後、昭和31（1956）年の「昭和の大合併」によって南内海村は御荘町へ合併することとなる。これら一連の大規模な境界変更により、内海村の面積や人口は大きく減少したが、これを機に村は行財政の効率化を模索し、再編を経て誕生した「新生内海村」は、独自の漁業や真珠養殖などを中心とした水産業を主軸に据え、平成の広域合併（現・愛南町への移行）に至るまで、自立した歩みを進めることとなった。



愛媛大学地域協働センター南予

副センター長
おおもと たかひさ
大本 敬久

古代の「内海」

ここで、旧内海地域の歴史を古代まで遡って概観してみたい。旧内海地域に含まれるのに御荘町へ再編された深泥遺跡からは約2万年前の旧石器時代に属する「国府型ナイフ形石器」が出土しており、同型石器の日本最南端の出土例として位置づけられている。また縄文時代には、隣接する御荘町の平城貝塚に見られるように、対岸の九州東部（大分県姫島産の黒曜石など）や中国地方との海上交流が盛んであったことが窺える。

古代の律令制下（奈良・平安時代）において、この地域は「宇和郡」に属した。平安時代の賀茂御祖神社（下鴨神社）の荘園御厨（Ⅱ神領）として「内海」の名が記録に現れており、豊かな漁撈地として中央からも重視されていた。この賀茂御厨史料に見える「内海」が、南宇和郡の旧内海地域を指すのかどうかについては諸説あり確定していないが、当時の宇和海を巡る状況は極めて示唆に富んでいる。

平安時代中期（10世紀）に成立した『延喜式』には、伊予国から「調」や「中男作物」として中央朝廷に納められていた物産が記録されている。そこには米や繊維製品だけでなく、鰯、塩、煮塩年魚、貽貝、鱧、海藻根といった海産物が数多く並ぶ。これらは飛鳥時代以降、天皇家へ献納された食料である「贄」の伝統が、律令体制下の税制として平安時代まで継承されたものと考えられる。

古代史料としては、飛鳥時代末期の藤原宮跡から発見された荷札木簡にも注目して

おきたい。そこには「宇和評小□代熟」もしくは「宇和評小物代贄」と解読される文字が見える。この木簡に「宇和郡」ではなく「宇和評」とあるように、大宝律令成立以前の「評制」時代（7世紀後半）のものであることが分かる。藤原京の完成が694年、大宝律令の成立が701年であることから、これは690年代に宇和地域から貢納された物資の荷札と推定され、古代から中央との強い結びつきがあったことを証明している。

平安時代後半の11世紀になると、宇和海における鰯漁に関する史料が明確に確認できるようになり、その名は江戸時代にいたるまで中央の朝廷、貴族、寺社に広く知れ渡ることとなる。その代表的な史料が、平安時代後期の永承7（1052）年頃に藤原明衡が著した文学作品『新猿楽記』である。本作は、京の猿楽に集まる人々の描写を通じて、当時の都のリアルな生活相や諸国の交易品を紹介している。その中の「四郎の君受領郎等」の章では、全国を巡って各地の特産物を集め、巨万の富を築いた人物が描かれている。

この『新猿楽記』に列挙された全国37の国・地域の特産物の中に、「伊予の鰯」が登場する。注目すべきは、挙げられている海産物のうち、海水魚は「伊予の鰯」「周防の鰯」「伊勢の鰯」のわずか3件のみという点である。この記述から、11世紀半ばには「伊予国の鰯」が中央の貴族層の間でブランドとして定着していたこと、そして伊予国沿岸（宇和海地方）での鰯漁が中央に轟くほど盛んであったことが読み取れる。

賀茂御祖社の御厨

この鰯が宇和海漁業の特産であったことを裏付けるのが、賀茂御祖神社の荘園に関する史料である。『南北朝遺文中国四国編第二巻』に所収されている「賀茂御祖社社領目録（もとは元文4（1739）年に同社の古代古文書を整理・書写した「賀茂社古代荘園御厨」には、同社の「諸国荘園」として全国68箇所の荘園が列挙されている。四国からは讃岐国鴨部荘・葛原荘、伊予国吉岡余田、土佐国津野荘が挙がる。そして、同史料が挙げる全国17箇所の「御厨」の項目を見ると、伊予国関係として「宇和郡六帖網」「内海」の2箇所が明記されている。「御厨」とは、神に供える神饌を調達・調理するための神領地のことである。宇和郡に「網」の呼称が付く御厨が設定されていたことは、中世（南北朝）において宇和海沿岸で鰯漁が極めて盛んであり、その漁獲物が京都まで運ばれていたことを示している。

史料の中での地名の並び順を見ると、「六帖網」の直後に「内海」が挙げられている。一般にこうした目録は京都（畿内）に近い順、あるいは同一地域ごとに並べられる傾向があり、本史料もその例外ではない。したがって、ここに並記された「内海」もまた、伊予国宇和郡内に存在したと考えるのが自然であり、地理的環境から見ても宇和郡南部の「旧内海村領域」を指していたと考えるのが極めて妥当である。なお、当時賀茂御祖社の御厨が同一国内に2箇所以上存在したのは、近江、摂津、播磨、伊予、豊後の5力国のみであった。このことから

も、14世紀半ばの宇和海沿岸部が、中央の有力神社と直結するほど先進的な漁業地域であったことが窺える。

さらに、この御厨の起源はさらに古い時代まで遡る。平安後期の寛治4（1090）年、堀河天皇の「夢想（神託）」により、内外の賀茂社へ御膳御供田として諸国の不輸田（Ⅱ免税地）と御厨が施入（寄進）された。この歴史的出来事は、朝廷の記録である『百鍊抄』寛治4年7月13日条にも「諸国に御厨を分かち置く」と記されている。これを東京大学史料編纂所所蔵の「賀茂社古代荘園御厨」の写本で詳細に確認すると、「日供料」の項目内、まさに寛治4年7月13日の記述に「宇和郡六帖網」と「内海」の2箇所が明記されている。つまり、これらは南北朝（1300年代）に新設されたものではなく、その起源を11世紀末（1090年）まで確実に遡ることができるのである。

これは、先述した『新猿楽記』の「伊予の鰯」とほぼ同時代にあたる。宇和海における鰯漁と網漁のネットワークが、平安時代後期にはすでに全国有数の水産拠点として中央に広く認識されていたこと、そしてその中核的な舞台の一つとして「旧内海村領域」が存在していた可能性は、歴史的に極めて高いと言えるだろう。

内海あれやこれや

「井底の痴蛙といえども、また少しく見る所あり」



浦和 盛三郎

浦和盛三郎は、江戸時代後期の天保14（1894）年、由良半島先端近くの集落、網代浦組頭の子として生まれた。初めは侍を目指して宇和島藩指南番・多都味嘉門に剣を橋本魯堂に漢字を学んでいた。

盛三郎が宇和島に遊学していた慶應2（1886）年、イギリス艦隊が宇和島港に來航した。盛三郎は仲間の青年藩士と連れ立って見学に行ったという。イギリスの圧倒的な軍勢力を目の当たりにした盛三郎だったが、イギリスに対する強い対抗心はこの時に培われたものであろう。

明治維新後、故郷の網代に戻り、子どもの無かった長兄の家督を譲り受け、網代地区の指導者として活躍することになる。その人となりは「莊重で寡言、しかして静かに謀り、疾に断じその威風対者を懼伏せしむるものがあつた」という。

当時イワシ大網二帖と大敷網三帖を経営していたが、大敷網に可能性を感じ、更に改良を加えて拡張し財を築いた。財を築いた盛三郎は、まず故郷網代の基盤整備に力を入れた。網代地区民の菩提寺の誘致、小学校の創立、網代内の集落を結ぶ道路の建設に資産を投じた。

明治5（1872）年頃には、それまで浦和家が所有していた土地を村民に分配している。これは「浦和家の農地解放」として伝えられている。



網代内の集落を結ぶ道路「浦和道路」

これに報いるため村民たちは自ら「浦和憲規」という決まりを作った。その第一条では村民が得た漁獲物の一割を浦和家に贈呈し、第二条では、浦和家の漁業経営について男子は漁労に女子は製造にそれぞれ従事することを定めている。

*1) 「井戸の底にいる蛙のような狭い世界しか知らない者だが、それでも多少は見聞きしてわかっていることはある」

愛南町教育委員会 生涯学習課 課長

織田 浩史

浦和 盛三郎

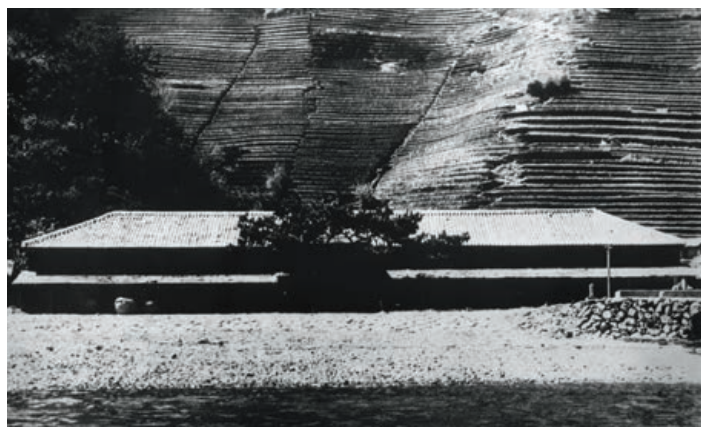
明治10（1877）年、愛媛県で初めて開かれた特設県会の議員に選ばれた。当時の議員は上級士族や大庄屋など旧藩時代の上流階級の者ばかりであったが、組頭の家系とはいえ平民に過ぎない盛三郎は、「それがし、管内の僻隅に居り、いわゆる井底の痴蛙といえども、また少しく見るところあり」と一喝し、何ら臆することなく堂々と自分の意見を述べ、参加者の注目を集めた。

明治16（1883）年には御荘為替店を創立して中小企業の金融に役立て、翌年には宇和島銀行取締となり大阪支店を開設、同銀行の衰運を盛り返した。支店開設の手腕を買われ、大阪商船の圧力で窮地に陥っていた宇和島運輸社長に招かれ大阪・別府両航路を確保した。明治21（1888）年には大阪に伊予物産会社を創立し、利益を独占していた大阪商人と対抗し、産地直販という新しい流通形式を始めた。

明治22（1889）年には漁獲物の保存加工のため網代に巨大な魚類製造家屋を建設した。間口24間・梁行6間、建坪100坪で、これは当時全国でも有数の大規模なものである。その棟札には「其れ英国の如き、世界に冠たる海軍の資を海産に求む。（中略）英人もまた人なり。大日本国人も人なり。至公至平の天賦を有し、英国に異なるの理何くにあるか」と記されており、イギリスに負けない海産製造の隆盛を図ろうとする抱負が述べられている。

この他、綿魚網・砲殺捕鯨術の考案、日本初の綿糸製巾着網「金輪網」の創作、水産加工の振興など明治の黎明期に内海村はおろか日本の漁業近代化に貢献した。

漁業界だけでなく、村会議員や郡会議員など要職を務めるなど多岐にわたって活躍していた盛三郎だが、明治24（1891）年秋ごろから病を得て、翌年11月に永眠した。享年49であった。



明治22年建設の「魚類製造家屋」

「無線機の向こうに汗の声聞こゆ」

豊後水道を一望する断崖の上に巨大な廃墟が残る。これは、旧日本海軍佐伯防備隊由良崎防備衛所で通称「由良衛所」と呼ばれている。

防備隊とは重要港湾や海峡などへ侵入する敵艦船、主に潜水艦の捕捉と攻撃、自国艦船の安全航行のための護衛や掃海任務を担当するものであり、水中聴音設備を備えた防備衛所を複数有した。佐伯防備隊は九州側に5か所、四国側に4か所あり、由良衛所はその一つで、昭和12（1937）年頃から建設が始められ、昭和15〜16（1940〜41）年頃完成したものである。

*夏井いつき『うみいづ』より 由良衛所

由良衛所は水中聴音機が12基備えられ、四国側では最も規模が大きかった。人員は時期によって増減はあるが、だいたい50名前後が配備されていた。

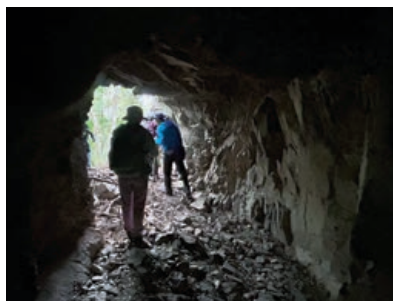
敗色が濃厚となった昭和20（1945）年4月以降、本土決戦に備えて、防備衛所敷地内に、14センチ砲4門、25ミリ機銃8基を備える砲台が建設された。新たに3棟の兵舎も建設され、約200名の兵員が配備された。同年7月には大量の砲弾が陸揚げされたもの、砲台は一度試射したのみで8月の終戦を迎え、終戦後、進駐軍の監視のもと破壊された。

現存する遺構としては聴音施設のほか、貯水池、

ポンプ室、発電室、見張所、

兵舎一棟、兵舎基礎2か所、兵舎擁壁3か所、砲台跡4か所、その他横穴壕などが数か所ある。

戦後80年を経て、戦争体験者が年々少なくなりつつあるなか、戦争の記憶と平和の大切さを伝える遺跡として、静かに佇んでいる。



（写真上）急峻な半島の突先にある聴音室跡天井。正面奥は九州（写真中右）聴音室跡の内部（写真中左）L字形の防空壕は通り抜けができる（写真下）兵舎跡の壁にはカモフラージュの塗装が今もハッキリと分かる *俳人の夏井いつきさんは愛南町内海家串の出身

「荒獅子の顎がくぐくと迫りけり」

夏井いつき『うみいづ』より 家串の荒獅子

家串の荒獅子は、蝶を捕らえようとする獅子が蝶に翻弄され荒れ狂う様を表現したものとされ、明治24（1891）年頃に西宇和郡三机から来ていた人から習ったと伝わる。獅子は二人立ちで化粧を施し華やかな衣装に身をまとった太鼓叩きの少年が蝶を表現している。

演目は空太鼓「太鼓の舞」、一番「神招きの舞」、二番「祈願の舞」、三番「修めの舞」に分れ、空太鼓は一番から三番までを太鼓叩きの少年のみで演じる。二番がやや長く、三番がやや短い。特に二番の踊りが最も激しく勇壮である。

この荒獅子が有名になったのは、大正8（1919）年に東伏見宮殿下の台覧を受けたのを始めとして、大正11（1922）年には摂政であった後の昭和天皇が宇和島を訪問された際に、特に選ばれて天赦園で台覧を受けた。また、昭和4（1929）年には松山の新県庁舎落成式に招かれ出演している。

昭和8（1933）年には東京三越で開催された中国四国物産即売



家串の荒獅子（撮影／北濱一男）

会の余興に出て好評を博した。この時、俳人河東碧梧桐の俳界引退披露にも出演している。昭和31（1956）年にはNHK総合テレビで全国放送されるなど全国的にも有名になっている。

昭和39（1964）年には旧内海村の無形民俗文化財に指定され、現在に至るまで地元家串の保存会が大切に保存継承に努めている。

「柏坂の峯渡り日本無双の遠景なり」 柏坂

かしわざか



標高約 480m の「つわな奥」からは宇和海の大パノラマが広がり、遠くに九州が見える

柏坂は、愛南町柏（旧内海村）と宇和島市津島町畑地を結ぶ急坂な遍路道で、四〇番札所観自在寺から四十一番札所龍光寺を結ぶ遍路道3ルートのうち、海沿いを通る「灘道」に含まれる。

柏坂登り口近くにある「しるべ石」には、「坂上り二十二丁 よこ八丁 下り三十一丁」と坂の里程が刻まれている。道中には柳水大師、清水大師、接待松などがあり、弘法大師や遍路にまつわる言い伝えも残る。

急な坂道を登り切ったのち、しばらく横通りを進むと突然眼下に雄大な宇和海の眺望が開ける。通称「つわな奥」という場所である。江戸初期の俳人大淀三千風が遍路として柏坂を訪れた際、「柏坂の峯渡り日本無双の遠景なり」とその眺望の素晴らしさを称えている。

地元の者にとっては重要な生活道でもあった「柏坂」も、海岸部を通る現在の国道が整備されるにつれて往来する人も途絶え、道は荒廃し獣道化していた。昭和60（1985）年、地元柏地区の住民で結成された「柏を育てる会」が、地域のシンボルづくりとして住民総出の共同作業で遍路道の復元に取り組んだ。以降、年2回の草刈り作業や定期的なパトロールを続け、維持管理に努めている。

平成6年（1994）には柏坂遍路道を歩く「へんろ路ウォーク大会」を開催。また、平成10（1998）年には新生内海五〇周年記念イベントとして「トレッキング・ザ・空海」と名を改めて開催しており、町村合併を経て、現在に至るまで町の代表的なイベントとして好評を得ている。



令和7年11月16日開催の「トレッキング・ザ・空海あいなん」



坂の里程が刻まれた「しるべ石」

内海の風景



(写真上) 薄暮の須ノ川 (写真下左) 須ノ川夏まつり (写真中) 由良半島 (写真下右) 家串の集落

撮 影／北濱一男

昭和40(1965)年代

由良半島の段ばた



由良半島の段ばたの跡



原田政章 写真集 由良半島より

由良半島は、昔、串灘と呼ばれ、突端まで長さ十八キロ、数え切れないほどの入江と小半島を、長い串で刺したような形をしており、尾根を境に、下灘村と内海村に分かれる。

十三箇所狭い平地には、肩を寄せ合うように人家が密集し、どの家も子沢山で十人ほどの家族が同居し、子供が増えると食糧を自給するため、山を開墾して段々畑を広げ、芋や麦を耕作した。

「耕して天に至る」と称された

段々畑の石垣には、先祖が長年にわたって流し続けた「汗」が深く沁み込んでいる。「原田政章 写真集 由良半島より」

夏号の特集を「内海」と決めてから由良半島の突先にある「由良衛所」

を自らの目と脚で

確かめたくて、5

月某日、網代の登

山口から往復7時

間ほどかけて行っ

てきた。道は少々

荒れていたが、道

中、絶景と段ばた

の石積みが見られ

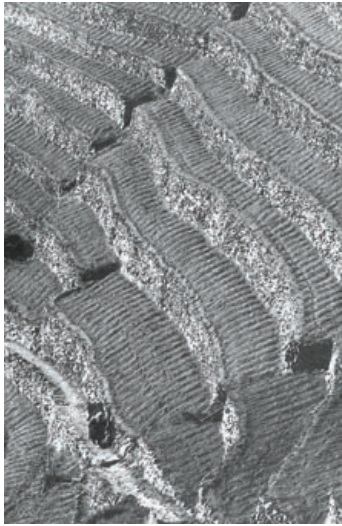
た。(写真上)



船越運河 (撮影 / 北濱一男)



半島より小猿島、西海方面を臨む



原田政章 写真集 由良半島より



原田政章 写真集 由良半島より



原田政章 写真集 由良半島より



原田政章 写真集 由良半島より



原田政章 写真集 由良半島より



写真家（元二科会写真部会員） 原田 政章（1926～2014）

「段ばた」を語るうえで欠くことのできないのが写真家の原田政章氏だ。氏は、教員だった父が赴任した由良半島の魚神山（ながみやま）で小学校4年から3年間過ごした。その後、海軍対潜学校に特別幹部練習生として入校し、終戦間際に由良衛所勤務となり再び由良の土を踏むことになる。

終戦後、漁村相手の電気商を始め、三度、由良の地を訪れることになったが、村の様子は昔から何も変わっていなかった。当時、村に写真機を持っている人はなく、自分が撮らなければ永久に半島の生活記録は残らないという義務感と責任感にかられ撮影を始める。

- 1926年 愛媛県南宇和郡西海村に生まれる 1943年 旧制吉田工業学校電気科卒
- 1944年 川崎造船所（株）入社 1945年 海軍対潜学校入校。由良衛所に勤務。終戦。
- 1947年 宇和島市で南海電業社を設立、南予の記録写真を撮り始める
- 1952年 ニューヨーク万博（銀賞）国際サロン、日米対抗展、朝日カメラ年鑑、全日本報道写真、愛媛県展ほかに出品
- 1959年 愛媛県展招待作家 1961年 二科会写真部会友。各種コンテスト年間最多入選（全国）
- 1975年 第60回二科展写真部で内閣総理大臣賞
- 1995年 写真集「由良半島」で愛媛出版文化特別賞。「美しい宇和海いつまでも」で愛媛広告賞
- 1998年 写真集「宇和海」で愛媛出版文化賞

愛媛出版文化賞特別賞受賞



写真集 由良半島 原田 政章
B5判・152p ¥3619＋税（アトラス出版）



■シュノーケリング用具レンタル料



項 目	料金（2時間以内）	料金（4時間以内）
*セット料金	700	1,000
マスク・シュノーケル	300	400
ブーツ・フィン	400	500
ウエットスーツ	500	700

*セット内容（マスク・シュノーケル・ブーツ・フィン・ウエットスーツ）（単位：円）

■シーカヤック用具レンタル料



項 目	料金（2時間以内）	料金（4時間以内）
1人用（セット料金）	1,000	1,500
2人用（セット料金）	1,200	1,900
ライフジャケット	300	400

○傷害保険料 100円（シーカヤック用具のみ）（単位：円）

*セット内容（シーカヤック・ライフジャケット・パドル・シーカヤックワAGEN）



シュノーケリングセット



シーカヤック1人用セット



シーカヤック2人用セット

■キャンプについて

公園内でキャンプを希望する方は、テント等を設営する前に管理事務所でキャンプ場使用許可の申請をお願いします。清掃協力費の納入のお願いと受付済の木札・説明事項・ごみ袋をお渡しします。お帰りの際、受付済の木札・説明事項の返却と配布したごみ袋に入ったごみを回収いたします。（チェックアウト：午後3時）

- ・キャンプ予約 … 不要 ・清掃協力費 … 小学生以上1人1泊 500円（デイキャンプは、無料）
- ・レンタルテント（ドーム型4人用） 2,000円 ・シャワー料金 … コイン式 温水シャワー 1回5分間 200円

■須ノ川公園管理事務所

798-3703 愛媛県南宇和郡愛南町須ノ川 288 番地 ☎0895-85-0200

詳しくは、愛南町ホームページをご覧ください→



撮り歩きなんよ

北濱一男が撮りためた南予の風景



由良半島の夕焼け（愛南町）

須ノ川の後方の風車の下にある展望台に向かう途中、夕焼けを撮影しました。映し出されたシルエットの一番奥の左は阿蘇山でしょうか？ その右が九州の屋根と言われる久住連山、手前の池は須ノ川のラグーン、右手には平谿、家串湾と続き、中央左の三つのコブがある島が塩子島、半島の先には子猿も見えます。

由良半島は、宇和島市と愛南町のどちら側にも短い半島が飛び出っていて地形図を見ると、まるでムカデのように見えます。

ムカデと言えば、昔、由良半島の突端で夜釣りをしていて食事を取ろうとリュックを広げたら、中に真っ赤な大ムカデがウヨウヨして驚いたのを思い出しました。

須ノ川公園から内海隧道までの国道沿いには、ハマユウの花が咲き、クロアゲハ蝶が蜜を吸っています。



北濱 一男 写真家

1945 年生まれ 宇和島市在住 学生時代からカメラをはじめ、本格的な写真歴は約 20 数年
奈良県明日香の写真家 上山 好庸（うえやま よしのぶ）氏に師事

「撮り歩きなんよ」（ブログ）<http://uwatu.blog135.fc2.com/>



Jazz singer MIE JOKÉ

情家みえ

「生きてる音楽」と言われるジャズの魅力は、アドリブの自由さと心地よいスイングにあると言われる。今回、その魅力にとりつかれ、ジャズシンガーとして活躍する宇和島市吉田町出身のジャズシンガー情家みえさんにお話をうかがった。

吉田町で饅頭屋を営んでいた父が毎日、石原裕次郎やエルビスプレスリーの曲が入ったカセットテープを聞いていて、曲が流れるのが仕事の始まりの合図で、曲が止まれば、仕事が終わった合図という環境で育った影響もあり、幼少期から音楽に親しんでいた。

6歳からピアノを習いに通ったが、全く上達せず、ピアノ教室の先生がたまに聴かせてくれた歌の方に魅かれていった。

幼馴染の友人奥野るみさんによると、「毎日、いっしょに登下校していたんですが、いつも海を見ながら歌ってましたね」とは言え、人前で歌うことが恥ずかしくて、コーラス部に入るとか文化祭のステージで歌うとかは全くなかった。ただ、人前で歌う人を見てカッコイイなと思っていた。

それが大学進学を期によりやくコーラスサークルに入ったが、「声が大きすぎるので少し押さえてくれ」と言われてヤル気をなくしていた時、友人に誘われて、ジャズクラブに行つて、衝撃を受け、一気にジャズにのめり込んでいった。

もちろんコーラスサークルはすぐ辞めて、それから毎日、大学の授業が終わったら、

吉野川にかかる橋を全力で自転車こいでジャズクラブに通つてそのピアノの先生からレッスンを受けた。

大学は家政学部で先生を目指していたが、一気に興味をなくして、とにかく東京へ出ることだけを考えていた。

そうして、大学卒業してすぐ、ほとんどリサーチもせずに東京渋谷にあるジャズの名店「BODY&SOUL」(ボディアンドソウル)に飛び込んだ。

「東京へ出てきて、すぐに後悔しました。知り合いも居なくて寂しいし、とにかく、それまで触れていたジャズとのレベルの違いにショックを受けました。BODY&SOULでは、大学時代に聴いていたCDに出ているミュージシャンが毎日のように演奏しているような店で、自分の未熟さや小ささに心を病んでいましたね」

そんな苦しい日々を送っていたが、ひとつの転機をむかえる。あるミュージシャンにジャズの勉強をするために四国から出てきていると伝えたところ、閉店後に何曲か歌わせてくれるようになった。すると店のママが気に入ってくれて、わずか3か月でステージに立たせてもらうようになった。「自分に全く実力が無いのに、名店BODY&SOULで歌っているということで、他の有名ミュージシャンからオファーが来るようになったんです。そうすると、だんだん心が病んでいつて、全く歌えなくなってしまう、予定のステージをすべてキャンセルして逃げ出しました。そして、それまで買っていたジャズCDや譜面を全部捨てました」

大きな夢を抱いて東京へ出たものの、わずか3年で、どん底を味わい、ジャズから距離を置き、結婚して二人の子どもを授かり、平凡な生活していた32歳の時、突然の訃報が飛び込んできた。

彼女が保育園、奥南小学校（宇和島市吉田町）時代から兄弟のように育ってきた36名のうちの一人、山本義明くんが癌で他界したのだ。彼は、自分の夢だった美容室を開業したばかりだった。

一所懸命、自分の夢を追いかけて亡くなった山本君のことを思うと「自分は、声も出るし健康じゃないかと、ふつと我にかえった。

それから、一度捨てた譜面を買いなおし、自分で譜面を書き始め、もう二度とやめることは無いと心に誓って、子育てをしながら歌も歌い始め、ジャズシンガーの伊藤君子に師事し、レッスンを受けていたが、ある時、「レッスンだけ受けていても意味がないからチャレンジしない」と背中を押されて、代々木NARボークールオーディションに出場し、見事、年4回、ソリストとしてステージに立てる権利を手に入れた。以降、徐々にオフアが増え、現在は、代々木NAR、BODY&SOULやALFIEなどの有名店を中ぐらコンギューア出演している。

＜プロフィール＞

宇和島市出身。幼少期より父親の影響で音楽に親しみ、6歳からピアノを始める。同時に歌唱にも興味を持ち、声楽のレッスンを受ける。大学にて児童教育を専攻。在学中にクラシック音楽を学ぶが、やがてジャズと出会い、徳島県内のホテルやクラブで歌い始める。大学卒業後に上京し、南青山の老舗ジャズクラブ「BODY&SOUL」にスタッフとして勤務。ほどなくして同店オーナー・関京子の勧めによりデビュー。ピアニスト山本剛のライブレコーディングに参加するなど本格的に活動を開始するも、約3年で一度中断。2008年に復帰を決意し、ヴォーカリスト伊藤君子に師事。2009年2月代々木「NARU」のヴォーカルオーディションを機に活動を再開。以降、南青山「BODY&SOUL」、代々木「NARU」、六本木「ALFIE」を中心に、都内および全国のジャズクラブへレギュラー出演。2013年ピアニスト後藤浩二とのデュオユニット「みえこうじ」結成。アルバム『MIE JOKE sings BALLADS and other love songs』をリリース。2018年オーディオ評論家潮崎男と麻倉玲二によるレコードレーベル「Ultra Art Record」発足。第一号アーティストとして招聘され、スタジオライブアルバム『ETRENNE / エトレーヌ』を山本剛トリオ・後藤浩二カルテットとともにレコーディング、リリースする。また、日本最大級のオーディオイベント「OTOTEN」や、アジア最大規模の「香港ハイエンドオーディオ&ビジュアルショー（香港高級視聴展）」などにもパフォーマーとして招聘される。

Discography



10. Sep. 2025
"Bonheur"



14. Jun. 2023
"SOMETHING BIG!!"



29. Sep. 2021
"THE REST OF YOUR LIFE"



23. Sep. 2020
"Kiss the Cats"

MIE JOKE / 情家みえ official site



<https://www.miejoke.com/>



川口ハルキ HyperGeneration 展

- 会 期 7月15日(水)～19日(日) (最終日は15:00まで)
- 時 間 水～金 12:00～17:00 土～日 10:00～17:00
- 会 場 アトリエぱれっと GARO. 宇和島市泉町2丁目2-10 ☎090-7784-4703

◆レセプションパーティー&情家みえコンサート◆

川口ハルキ展のレセプションパーティーに宇和島出身のジャズシンガー情家みえさんとギタリスト平田晃一さん(北海道出身)を迎えてライブを開催いたします。

- 会期 7/16(木) 18:00～(先着40名)
 - チケット 4,500円 (軽食&ドリンク付き)
- ※チケットは GARO. にて販売しています。



文ちゃんどつぽの 予土線のあの人に会いたい16

文 / 山下 文子
写真 / 坪内 政美



予土線バッテリーカー

最寄駅は「高知駅」

アートセンター画楽 代表 上田祐嗣さん

うえた ゆうじ

とし4月下旬、「予土線に新たに『新幹線』が登場する」と聞いたものだから、高知県の四万十町役場に足を運んだ。てっきりあの『0系新幹線』もどきの『鉄道ホビートレイン』が増便するのかと思いきや、見せてもらったのはいわゆるバッテリーで動くおもちゃの車のことだった。定員2人の最高時速2キロにも満たない超スローな乗り物である。

沿線の自治体で作る予土線利用促進対策協議会が製作したもので、5月のイベントで窪川行きと宇和島行き、それぞれの方向幕を冠した2台がお目見えした。このバッテリーカーもさることながら、注目すべきはその安全フェンスのデザインである。なんと宇和島駅から窪川駅までの22駅分、まるで駅看板のようにフェンス一枚一枚に一駅ずつデザインされている。宇和島駅には、宇和島城と牛鬼、土佐大正駅にはヤイロチョウなど地域ごとの特色を生かした色彩豊かなデザインに私はひと目見て心をがっしりつかまれた。

手掛けたのは、高知市にある「アートセンター画楽」。障害がある人たちがアート作品を創作している場所だ。22枚のアートフェンスの誕生にせまるべく、話を聞きにうかがった。オシャレな出で立ちで、あいさつしてくれたのは、代表の上田祐嗣さんだ。

「協議会の方から駅ごとにモチーフの提示があった駅もありますし、なかった駅は、こちらから提案して製作しました」と話す。

このフェンスのデザインには、所属するアーティスト13人が関わっていて、絵も文字も個性的なのに、どこか統一感があって可愛らしい。

上田さんは、「たとえばですね、背景に使っている絵というのは抽象的で色がきれいな作品を描く



(写真上) 太ったヤイロチョウがカワイイ！
(写真下) シンプルなのに力強い宇和島城と牛鬼

子の絵を主に使っていて、それが町村ごとに同じ物を使うという統一感を醸し出していると思います。大正駅のこれ、ヤイロチョウですよ。こんな太ったヤイロチョウいないと思うんですよ（笑）それぞれ一人一人で完結するというのは、やっぱり難しいところがあるんですけど、明るくてポップなデザインで『予土線に行ってみたくならないかな』というのを作り出せたんじゃないかな。彼らの良さというものを一枚のフェンスの中に出して、楽しんでそこにきたんじゃないでしょうかね」と顔をほころばせる。

作業場を訪れたとき、アーティストたちがそれぞれ創作中で、自由でおおらかに出来上がっていく作品にワクワクした。ふと、フェンスのデザインを思い出し、予土線に乗ったことがあるのだからうかと聞いてみると、アーティストの一人、和田一真さんが、「僕は予土線のトロッコ列車に乗ったことがあります。景色がきれいで眺めが良かったです」と話してくれた。

和田さんは、宇和島駅と西ヶ方駅を描いたアーティストだ。高知市内だと縁が薄い予土線だが、

公共交通機関を使う障害者のメンバ―も少なくないという。「JRを使って週に3日ほど通ってくる人もいます。それまで親御さんの送迎がないと来られなかった人が公共交通機関を使っただけからここまで一人で来ることができるようになったりしています。やっぱり障害のある人たちに公共交通機関は生活を豊かにする大事なツールじゃないかなと感じています」。

協議会が障害者アートを選んだ理由の一つとして、『だれでも使える、使いたいときに使えるの公共交通機関、予土線』というメッセージ性も含めて、製作を依頼したという。

上田さんは、自身も現代美術のアーティストであり、メンバ―たちの作品を優しく見守り、面白がって楽しんでいる。

「こういうチャンスをいただくことによって、彼のユニークさとか彼らの良いところをつなぎ合わせて世の中で求められるものが提供できるといふのを示せたのかなと思います。そして、画業では、アートに対する意識の垣根を低くしたい。たとえば、4、50人のグループに『絵が好きだな』と聞くと1割くらい。手を上げなかった人に『じゃあ皆さん、いつから絵が嫌いになったんですか？』と聞くと、エッという表情に変わるんです。つまり、皆さんが幼稚園の時、絵を描くことは楽しくてしょうがなかったはずなんです。これは100人いたら100人がそう。ところが、だんだん絵が嫌いになっていくんですよ。それは何でかなという、そっくりに描けたり、上手に描けたりという物差しがあたるとなると、『私は下手くそ』『ちょっと苦手』という声が聞こえ始める。好きなことを好きなように続けていけば、絵は一生楽しめるし、自分が絵を描くことによって豊かな時間を演出することができる。こうして障害がある人がのびのび描いた絵を見ていただくことによって、『難しく考えなくてもいいんだな』と気づいてもらえるといいなと思います」。

この話を聞いて、ハツとした。自由でいい、回りのものさしで測ることばかりを気にしないでいいんだと。私もアートフェンスに囲まれてバッテリーカーに乗ってみた。22駅が一本の線路でつながっていて、まるで小さな予土線の旅に出かけたようで心が躍った。フェンスの中に予土線の魅力が広がっている。私が出会ったアートの世界は、『自分がいいと思ったもの』と優しく背中を押してくれる温かさにも包まれていた。



フェンスのデザインを手掛けたアーティストたち



山下 文子（やました あやこ）

宇和島市出身、鬼北町育ち
予土線沿線は県をまたぐも「ザ・生活圈」。鉄道を始め、乗り物は何でも大好き 座右の銘は「その角を曲がれば、旅」（※永六輔氏のうけうり）
「四万十の鉄道 予土線」のホームページでコラムを担当



坪内 政美（つぼうち まさみ）

スーツ姿で撮影するという奇妙なこだわりをもつ鉄道カメラマン・ロケコーディネータ 各種鉄道雑誌などを執筆する傍ら、テレビ・ラジオにも多数出演。町おこし列車「どつぽ列車」を主宰し、駅スタンプを製作・寄贈する活動を行っている
予土線利用促進対策協議会アドバイザー

四万十川の
鉄道よどせん



協力：予土線利用促進対策協議会

梶原さんと仲間たちの写真展

梶原 正(93歳)さんは、長年アマチュアカメラマンとして活動をされ、自宅には毎日、カメラ愛好家の仲間が集っています。そんな梶原さんと仲間たちの写真展が開催されます。



早朝の大樹／撮影 梶原 正

出展者 赤松美生 上田和夫 梶原 正 北濱一男 50音順
久保政文 是澤二夫 清家 昇 前田 晃

※「撮り歩きなんよ」を担当していただいています北濱さんも出展されます

■会 期 7月7日(火)～12日(日) (最終日は15:00まで)

■時 間 火～金 12:00～17:00 土～日 10:00～17:00

■会 場 アトリエぱれっと GARO.

宇和島市泉町2丁目2-10 ☎ 090-7784-4703

第4回
2026

宇和島信用金庫

カレンダー公募展

作品受付／2026.8.28(金)まで
 展覧会／2026.9.2(金)～6(日)
 ＊各賞が決定後、全応募作品を展示いたします

●最優秀賞作品 (カレンダー採用)
 賞金 100,000円
 ＊最優秀作品は当金庫へ寄贈していただきます

・優秀賞 (2点) 30,000円
 ・佳作 (3点) 5,000円
 応募先・展示会場／アトリエぱれっと GARO.

応募要領
裏面

テーマ
宇和島

あなたの作品が来年のカレンダーになる！

第3回 [2026] うわしんカレンダー公募展
 最優秀賞 「八重の桜」
 亀井邦隆さん (宇和島市)

主 催／宇和島信用金庫 委託先／アトリエぱれっと GARO.
 問合せ／アトリエぱれっと GARO. 宇和島市泉町2-2-10 TEL.090-7784-4703

うわしん
しんねい ぴんぱくつ

町田早紀ピアノリサイタル

Machida Saki Piano recital



2026年 9月26日(土)

13:30 開場 14:00 開演

会 場：パフィオうわじま 1階ホール

チケット：1,000円 (一般)
 500円 (高校生以下)

※全席自由席 ※当日券は500円増

※未就学児童の入場はできません

チケット販売所：パフィオうわじま 1階受付 お問い合わせ：0895-49-5922

主催：宇和島市生涯学習センター 後援：宇和島ケーブルテレビ(株)



←申込フォーム

読者プレゼント
 抽選でペア券
 4組様

《応募方法》ハガキまたはメールに住所、氏名、連絡先、年齢、性別、本誌へのご意見で感想をご記入の上、下記までお送り下さい。抽選で4組にペア券をプレゼントさせていただきます。

〒798-0041 愛媛県宇和島市本町追手2-4-10 宇和島信用金庫 総務部 つなぐ編集部 締め切り：8月末日

mail: uwashin-soumu@uwajima.shinkin.jp

「ナサニエル・ローゼン & 福原彰美 チェロソナタ・リサイタル」



本誌巻頭エッセイの執筆者で夏井いつきさんの実妹ローゼン千津さんのご主人でチェリストのナサニエル・ローゼンさんのリサイタルが8月10日に東京のサントリーホールで開催されます。

販売：チケットぴあ
[Pコード]312160



- 会 期 8月10日(月) 19:00開演
- 会 場 サントリーホール(東京都港区赤坂1-13-1) プールローズ(380名)
- お問い合わせ先：ナサニエル・ローゼンのチェロを聴く会
ローゼン千津 chizu.rosen@gmail.com ☎080-2986-9170

宇和島市内 高校同窓会総会のご案内



■宇和島水産高等学校

日 時：8月8日(土) 18:00～
会 場：宇和島水産高等学校
会 費：未定(お問合せ：☎0895-22-6575)

■宇和島東高等学校(当日参加可)

日 時：8月11日(火・祝) 15:00～(お問合せ：☎0895-22-0261)
会 場：宇和島市役所 2F 大会議室
会 費：6,000円
チケット：オンラインでも購入できます。
各期理事・学校でも購入出来ます。



※2015年～23年に卒業された方は3,000円キャッシュバック！
※2024年卒(75期)、2025年卒(76期)の方は無料！

■宇和島南高等学校

日 時：8月14日(金) 17:00～
会 場：宇和島市役所 2F 大会議室
会 費：未定(お問合せ：☎0895-22-0262)

■吉田高等学校

日 時：7月19日(日) 14時～
会 場：吉田公民館 大ホール
会 費：3,000円
お問合せ：☎0895-52-0565 申込フォーム→



- 今、1番ノリノリのニューオリンズの流れを汲むジャズユニット
- 会 期：7月12日(日) 18:30 オープン 19:30 スタート
 - チケット：前売り 5,000円/当日 5,500円
 - 会 場：R69K JACK (TEL.0895-28-6069)
宇和島市中央町 2-4-8 AKAMATSU ビル 1F



- 会 期 8月15日(土)
- ① 13時30分開演(開場13時)
- ② 18時30分開演(開場18時)

■入場料

一般500円
高校生以下は無料

- 会 場：宇和島市生涯学習センター(パフィオうわじま1階ホール)
- 主 催：宇和島市生涯学習センター
- 協 力：シネ研宇和島
- 問合せ先：☎(0895) 49-5922
Mail: u-gakushu@ca.pikara.ne.jp



申込フォーム

いのちのはなし グー チョキパー 16

「四国霊場 第42番 佛木寺さん」

文 / 毛利弘子



「この人、100歳なんよ」と、偶然出会ったご婦人からお連れの方を紹介されました。佛木寺で4月19日、大日如来御縁日の餅まきがあった境内でのことです。

その日は、人生初と言える25個ものお餅を拾っていた私は、思わず「お餅は拾われましたか、少し差し上げましょうか」と、声をかけたところ、「たくさん、拾いましたよ」と、手揚げ力ゴいっぱいのお餅を見せてもらい、びっくり仰天しました。さらに、「主人が佛木寺の本堂と大師堂を建てさせてもらったのですよ」とのお話まで聞かせてもらいました。さすがに、ご婦人も、100歳の方と大量のお餅を持つての石段降りは大変だろうと思い、山門まで一緒にさせていただきました。手を握らせてもらいながら、「来年も、是非おいでくださいね。101歳でお会いできるのを楽しみにしています」と声を掛けさせてもらい、お互いニコニコ笑顔でお別れました。お手は、とても力強く、しっかりと生きてこられた年月を感じることができました。この素敵な出逢いを、なんだかお大師様に感謝したくなる出来事で、朝から雨模様だったお天気も法要が終わった頃には雨もすっかり止んで清々しい青空になっていました。

佛木寺さんでは、2月の星祭り、4月に大日如来御縁日、5月の花まつり・観音大祭・土用丑の日にはきゅうり封じ等の年中行事があります。また、毎月第3日曜日の写経会には、30人余りの参加者があり和尚様がミニ講話をしてくださいます。私は、この講話を楽しみにしていて、たくさんの方に気づかせてもらったり、学びの場となつて

います。和尚さんとして、日々で修行を積まれている方だから、私達凡人には見えない、気づかない視点があるのだなあと、いつも感心しています。佛木寺さんは、4年前に客殿の大改修をされました。お寺を地域と連携した活動の場として、また、弘法大師との繋がり場として活用したいと願っていると話されていました。

5月5日には「佛木寺能」が開催されました。県内外から180名もの参加者があり、本物を間近に鑑賞させてもらう、とても貴重な経験となりました。こうしたことをお寺ですることに意義があり、皆さんの人生が豊かになればとのお考えでもあります。その他にも、ヨガ教室で利用されたり、マルシェを開催されたりと、なんだかとてもお寺さんが開放的で身近に感じられているのは、私だけではないように思います。

佛木寺は、私の歩き遍路のスタート地点でもあります。41番札所の龍光寺から佛木寺までは、2.8kmの軽い山道歩き、佛木寺から43番の明石寺までは、標高450mの歯長峠を越えての11kmのウォーキングコースでした。お天気にも恵まれ、楽しい仲間とのハイキング気分での帰り道、「歩き遍路を続けてみませんか」の、笑顔のお誘い思わず「はい」と返事をして、満願まで5年近くかかった1400キロの歩き遍路の道でした。お陰様で、今も貴重な経験や出逢い・学びをさせていただুকお寺さんに親しく足を運ばせてもらっています。次は、どんな出逢いや学びがあるのかワクワクしています。



毛利 弘子プロフィール

1952年生まれ 公立小中学校養護教諭を40年経験後 2012年定年退職
ライフワークの性教育の講演や全国大会での研究発表多数
●受 章／平成24年愛媛県学校保健功労賞 令和3年文部科学大臣学校保健功労賞
●執筆／「いのちのはなしグーチョキパー」(エデル研究所出版)
●その他／・和霊公民館運営審議委員・更生保護女性会副会長
・退職公務員連盟中央分会副会長・和霊小学校読み聞かせボランティア
・カサヨハネ(知的障害児)放課後デイサービス非常勤講師ほか
●趣味／陶芸・登山・写真・絵手紙・歩き遍路・シーボーンアート



もうりひろこ(著) みずせき ゆりえ(絵)
価格 1,572円(税込)

南予の祭り歳時記

土居^(西予市)の御田^お植^た行事^{うえぎようじ}

愛媛大学地域協働センター南予 副センター長

おおもと たかひさ
大本敬久



1971年 八幡浜市生まれ、西予市在住。専門は民俗学・日本文化論。著書に『愛媛の民俗・冠婚葬祭編一』（愛媛県文化振興財団）。愛媛県歴史文化博物館勤務を経て、現在、愛媛大学地域協働推進機構特准教授。



写真提供：大本敬久

西予市城川町土居に伝わる「土居の御田植行事」(通称:「どろんこ祭」)は、毎年7月の第1日曜日に三島神社の御供田を中心に行われていた伝統的な御田植神事である。昭和44年に町の指定文化財、その後、県指定無形民俗文化財となったこの行事は、宇和島藩内に広く普及していた和霊神社の御田植祭を源流としており、明治15年頃に高月兵太郎氏が地元の青年衆へ相談したこと始まった。

農作業を終えた喜びと五穀豊穡、無病息災を願う田休み行事として定着し、戦時中の一時中断を経て復活した歴史を持つ。昭和50年代にはNHKの放送を契機に「どろんこ祭り」として全国に知られ、奥伊予の奇祭として多くの観光客やカメラマンを惹きつける一大イベントとなったが、近年は中断状態となっている。

行事は、事前に入念に田ごしらえがなされた泥田を舞台に展開される。まず三島神社の拝殿で神事が行われた後、泥田へと舞台を移す。最初の演目である「代かき」では、麦わら帽子に半纏姿の使い手たちが、かつては10頭の牛を横一列に並べ、馬鍬を引かせながら代かき唄を唱和する。巨体の牛たちが整然と泥をはね上げる様は極めて壮観であった。

続く「畦豆植」は、かつての農作業をユーモラスに表現した寸劇で最初は真面目に豆を植えていた4人の農夫役が泥を掛け合ったことから大乱闘となり、制止役まで泥だらけになる演出で会場を沸かせる。次に、田の神を迎えて豊作を祈る「さんばいおろし」が行われる。これは白装束の神官3人と猿田彦(鼻高)の面をつけた大番1人が仮設舞台で神楽を舞うものだが、ここでも大番が神官を泥田に落とすなどの悪ふざけを働き、最終的には大番自身が泥田に放り込まれるという、観客を

含めて笑いが起こる。

その後、花笠と白い浴衣に赤タスキをまとった15人の早乙女が、泥田の台の上で手踊が披露される。最後を締めくくる田植式では、早乙女が一行に並び、菅笠姿でささらや小太鼓を持った男子15人と田植縄を挟んで向かい合う。大太鼓や男子の囃子に合わせて早乙女たちが苗を植えていき、田植歌の男女の掛け合いとともに歌い納められる。

しかし、どろんこ祭は過疎化や少子高齢化、社会環境の変化による深刻な課題に直面し、現在では実施が困難な状態が続いている。かつては農家自慢の農耕牛が選り抜かれて出場し、参加することが最高の栄誉とされていたが、現代では農耕牛がいないため肉用牛を借り受けて1か月前から道路通行を優先させるなどして過酷な訓練を施していたものの、いまでは牛の確保もできなくなった。

また、出演できる子どもたちの数も不足し、以前は土居地区の児童に限られていた田植式の早乙女や男子の役を、周辺地区や校区内全体から募らざるを得なくなっていたが、それでも確保できない状態である。

運営主体もかつては青年団から、地元の土居地区による御田祭実行委員会へと移行して運営されていたが、後継者の育成は限界を迎え、中断するにいたった。最盛期にはマスコミに報道され観光化した結果、押し寄せる大量の観光客や多くのカメラマンへの対応、予算確保という一つの集落には重すぎる負担が生じていた。民俗文化財を長く守り伝えていくためには、流行や外部の評価に過度に左右されず、地元地域が身の丈に合った規模で維持できるような持続可能な方向性を模索することも肝要だと考えさせられる。

健康診断の大切さについて

健康診断は、「今は元気だから必要ない」

と思われがちですが、実際には病気を早期に発見し、将来の健康を守るために非常に重要です。特に高血圧、糖尿病、脂質異常症、慢性腎臓病などは、初期にはほとんど症状がありません。そのため、自覚症状が出た時にはすでに病気が進行していることも少なくありません。

例えば高血圧は、「サイレントキラー」（静かな殺し屋）とも呼ばれています。普段は何も感じなくても、長年放置すると脳卒中や心筋梗塞、心不全などの原因になります。日本の研究でも、血圧を適切に管理することで脳卒中や心血管病のリスクが大きく低下することが示されています。健康診断で血圧異常を早期に発見することは、重大な病気の予防につながります。

また、糖尿病も初期には無症状で進行することが多い病気です。しかし進行すると、失明、腎不全、足の壊疽、心血管病などを引き起こします。日本糖尿病学会などの報告では、早期発見と生活習慣改善によって

発症や重症化を防げることが分かっています。健診で血糖値やHbA1cを測定する意義は非常に大きいと言えます。

さらに近年注目されているのが、慢性腎臓病（CKD）です。腎臓病もかなり進行するまで症状が出てくく、気付いた時には透析が必要になることもあります。蛋白尿や糸球体濾過量（GFR）などの検査は、腎機能低下を早期に発見する重要な検査です。CKDは心血管病とも深く関連しており、早期対応によって透析や心不全を予防できる可能性があります。

がん検診も健康診断の重要な役割の一つです。胃がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がんなどは、早期に見つければ治療成績が大きく改善します。特に大腸がん検診の便潜血検査は、死亡率低下効果が証明されています。症状が出る前に異常を見つければ、命を守るにつながります。

一方で、「健診で異常を指摘されても放置してしまう」ことも少なくありません。しかし、健康診断は「受けること」だけで

はなく、「結果を活かすこと」が大切です。再検査や生活改善、必要に応じた治療を受けて初めて意味があります。

健康診断にはもう一つ大切な役割があります。それは、

自分の体を客観的に知ることです。年齢とともに体は少しずつ変化します。健診を定期的に受けることで、自分の血圧や体重、血糖、腎機能などの変化を長期的に把握できます。

これは病気の早期発見だけでなく、健康意識を高めることにも役立ちます。

健康は、失って初めてその大切さに気付くことが多いものです。健康診断は、「今の健康状態を確認する作業」であると同時に、「未来の自分を守るための投資」でもあります。忙しい日々の中でも、定期的に健康診断を受け、自分の体と向き合うことが大切です。



沖内科クリニック
副院長 沖 良隆

毎日、暑い日が続いています！「酷暑日」に負けないためには、バテない元気な体を維持すること。そのためには、先ず生活リズムを整え、主食・主菜・副菜のそろった栄養バランスのよい食事をするよう心がけましょう。
今回は、夏野菜を使った「簡単副菜」をご紹介します。

野菜を食べて元気アップ！

トマトのビネガーソース 夏の日差しで疲れた肌を元気に！

【材料】

	ミニトマト	1P(200g)
A	酢	大さじ2
	砂糖	大さじ1
	塩	小さじ1
	オリーブ油	大さじ1
	玉ねぎすりおろし	大さじ1
	粗挽きコショウ	適宜
	パセリ	適宜

トマトの色素成分であるリコピンは、老化予防や美肌効果が期待できます。リコピンは油に溶けやすい性質を持つので、オリーブ油を合わせることで吸収率が高まります。



【作り方】

- ①ミニトマトはヘタをとり、皮に包丁で切り目をつける。鍋に湯を沸かして30秒ほど茹でる。すぐに冷水にとり皮をむく。(簡単にむくことができます)
- ②Aの材料を合わせてよく混ぜ、①のトマトを和える。(パセリのみじん切りを散らす)



きゅうりのピリ辛和え 熱中症を予防！

【材料】

	きゅうり	1本(100g程度)
A	塩昆布	大さじ1
	塩	ひとつまみ
	白すりごま	小さじ1
	ラー油	適宜(好みで)

きゅうりは、約9割が水分で構成されているため、食べることで水分補給につながります。また、体の熱を放出するカリウムも豊富に含まれています。



【作り方】

- ①きゅうりは塩小さじ1(分量外)をまぶし、まな板の上でころがす(板ずり)。洗って水気をきり、5mm厚さの輪切りにする(太いきゅうりの時は、種を取り除く)。
- ②ボウルにきゅうりを入れ、Aで和える。



ニラと納豆の炒め物 元気モリモリ！

【材料】

	ニラ	1束(100g程度)
	納豆	1パック
	オリーブ油	大さじ1
A	納豆のたれ	1袋
	砂糖	小さじ1/2
	濃口しょうゆ	大さじ1
	みりん	大さじ1
	海苔(味海苔も可)	適宜

納豆には疲労回復効果のあるビタミンB1が多く含まれ、ニラに含まれるアリシンはその吸収率を高めてくれます。夏バテ予防の相乗効果が期待できる料理です。
納豆は、炒めると臭みが消えて違った風味を楽しめます。



【作り方】

- ①ニラは、1～2cm長さに切る。
- ②フライパンにオリーブ油を入れて熱し、納豆を炒める。糸を引かなくなる程度炒めたらニラも加えてさらに炒める。ニラが柔らかくなったなら、Aを加えて味付けする。盛り付け時に、海苔をキッチンバサミで切って散らす。



和田 広美

管理栄養士
柑橘ソムリエ
シーフードマイスター
愛媛大学地域再生マネージャー

お気楽 俳句

給食の仕事は大変だ。何百人分もの材料を刻み、煮て混ぜての重労働。暑さ寒さも半端ない。左記に紹介する北大路翼氏の句集『給食のをばさん』には、氏がパート調理員として奮闘した日々が献立とともに日記のように綴られている。

北大路氏は歌舞伎町を舞台とした『アウトロー俳句』で知られる俳人。「キャバ嬢と見てゐるライバル店の火事」「電柱に嘔吐三寒四温かな」など収載の『天使の涎』(邑書林)は第7回田中裕明賞を受賞。俳句は花鳥風月を詠むだけではないんです。(小野更紗)

美生柑^{みしようかん}すぐにサワーにしたき味

こぼれたる液もゼリー^{ゼリー}になりにけり
焼売の中に隠れてしまひたい

ニラ^{はき}が齒に挟まつたまま皿洗ふ

夏野菜^{なつやさい}つまりは肉のないカレー

夏^{なつ}痩^やせの肩をエプロン^{エプロン}ずり落ちて
一口の梨^りを千人分作る

白菜^{ばいさい}に刃を入れてからぐつと刺す

甘口のカレーに林檎^{りんご}不登校

里芋^{りいも}を剥くのも飽きてただ老いる

ぼたーじゅのぼたぼたぼたと秋^{あき}ふかむ
懸命や体重かけて切る南瓜^{かぼちゃ}

しらたまのつるんと仕事始めかな
すいとんをちぎる楽しさ春^{はる}近し
手作りのゼリーに気泡^{ひあし}日脚^{ひあし}伸び
卒業後は辛いカレーを食べなさい

北大路翼『給食のをばさん』(角川文化振興財団刊)より

※色文字は季語 ルビは編集部

構成…小野更紗

1987年より宇和島市在住 息子の俳句甲子園出場を機に俳句を始める いつき組 じゃこ天句会(毎月第1金曜日7時より鶴島公民館)



*エセカン…お調子者 *ほたつくー…ほつとく

絵…律川エレキ

1966年宇和島市生まれ 奈良市在住 2000年頃より俳句新聞や雑誌「100年俳句計画」等に挿絵を描く。映像作家 俳号大塚桃ライス

おすすめの本

「NHKテキスト 3か月でマスターする 西洋美術 4、5、6月」

NHK 出版 1,485 円 (税込)

この春4月～6月にEテレで放送された番組のテキストです。2800年前の古代ギリシャから現代まで、西洋美術の流れを12回にわたって解説しています。バーチャル作品を原寸大で紹介しているのも魅力です。テキストでは番組の補足や解説をプロがわかりやすくまとめてくれるので必須アイテムです。どの作品にも時代や社会の動きが大きく織り込まれている背景がわかると、観る角度も変わるし歴史にも興味が広がります。6月号には「オリジナル西洋美術年表」の付録もついています。

協力：岩崎書店 宇和島市錦町4-16 TEL.0895-22-0528



■アトリエ堀端絵画教室（べにばら画廊）

宇和島市本町追手 2-8-6 TEL. 0895-22-1104 コメント：吉田 淳治



作品名：『興味』（水彩）
作者：松本想也（こどもクラス）
興味津々、辺りを窺う大きなカラス。
遠くには、空飛ぶ二羽と不思議な建物。
この遠近が絵の迫力を際立たせる。
嫌われがちなカラスもどこか愛くるしい。
そうや君は賢い鳥だと知っているのだ。



作品名：『ひまわり』（水彩）
作者：金山結亮（こどもクラス）
画面の真中にドーンとでかいひまわり。
こちらに向かってパーンと咲きほこる。
やわらかに広がるのはひまわり畑？
鳥たちは羽ばたき涼しい風を運ぶ。
ゆうすけ君はどこに飛び立ちどこで咲く？



作品名：『赤ポット』（油彩）
作者：笹岡洋美（大人クラス）
やってみる、ちょっと迷ってもやってみる。
辻褄合わせの小賢しさなどとは無縁。
勢いそのまま恐れずやってみる。
そこがいい！これぞ笹岡さんの良さ。
少々暴走も OK、生きた絵の証だ。

INFO

■アトリエぱれっと GARO. <https://art-palette.wixsite.com/mysite>

宇和島市泉町 2-2-10 TEL.090-7784-4703 yuka@art-palette.com コメント：清家由佳



作品名：『愛猫「おかか」』
作者：三瀬 京子
保護猫だった「おかか」に対する愛情
が溢れています。背景の赤とアクセ
ントの緑が模様をひき立てています。京
子さんの伸び伸びした筆使いと描き方
がとても素敵です。



作品名：『カラスウリ』
作者：松本 幸子
いつも妥協せず、ひらめきを大切にさ
れる松本さん。背景をブルー系でま
とめることにより、カラスウリの朱色が
際立ち美しく描け、ツルの絡まりで
画面に動きが出ています。



作品名：『animal』
作者：清水 鈴音（小3）
フルーツ用のモールドバックを利用して、
色々な動物を表現しています。いつも黙
々と制作に取り組んでいて、観察力があ
り、色のセンスも素晴らしく、大人顔
負けの表現者です！

お食事処 なにわ 代表取締役 足立ゆかり

「愛南町を代表するお店を目指して」



人気の「日戻りびや鯉」の刺身と愛南ゴールドチューハイ

愛媛県の最南端、南宇和郡愛南町で「お食事処なにわ」を経営しています。二代目の足立ゆかりです。

まずは、なぜ「なにわ」と言うのか・・・よく聞かれるのですが、それは、母は愛南町出身なのですが、初代（父）は鳥取県境港市の出身で、出逢った場所が大阪ということで「なにわ」という看板をあげたそうです。単純ではありませんが、運命の出会いには間違いありません。

高度経済成長期の中、『負けたらあかん!!』精神でここまでやってきました。可愛い（？）娘二人に恵まれ、創業から60年が経ちました。よい時期もあれば、大変な時期もあり、私も子どもの時から我慢する事が沢山ありました。それでも、

ここまでやってこれたのは家族みんなが「なにわ」を大事にする想いがあったからではないでしょうか。

10年前に二代目を引き継ぐにあたって、自分は何をしたらいいのか沢山考えました。たどり着いた答えは、『愛南町を表すお店にする事』でした。その為には、『地元の食材にこだわる!!』そんな想いでやってきました。代表するお店になっているのか、なっていないのか・・・そんな事を考えている中、コロナ禍で先が見えない日々が到来。毎日不安を抱えながら来ないお客さんを待っていました。そんな時に、色んな人達から「愛南町にはなくてはならないお店だから、頑張つて!!」と声をかけて頂きました。びっくりしたのと、有り難い気持ちで胸が熱くなりました。そんな声に真摯に向き合い、父親の口癖である『負けたらあかん!!』を自分も引継ぎ、前を向いて今までやってきました。お陰様で何とか乗り越える事ができました。これからも、地元の人々を大事に負けたらあかん精神で頑張っていきたいと思っています。

愛南町は、自然に恵まれ海の幸、山の幸と良いものが沢山あります。愛南名物、『日戻りびや鯉』や宇和海で育った『真鯛』などなど、美味しい魚と『愛南ゴールド』のチューハイで一杯!! 是非、ご賞味ください。

最後になりましたが、若手経営塾に参

*愛南町の深浦港に水揚げされた「日戻りカツオ」の中から厳選したカツオだけを素早く脱血処理して、取り扱い認定店のみに販売される特別なカツオ



加させて頂きありがとうございます。ございました。おかげさまで、宇和島の方々のパワーを頂いたのと、新しい出会いもでき、色々と勉強になりました。本当にありがとうございました。

これからも皆様のご活躍をお祈りいたしております。

愛南町来られることがありましたら、是非お立ち寄りください。お待ちしております。

〈日戻りカツオ〉

カツオ漁は通常、数日操業した後には水揚げを行います。愛南町では出港したその日に帰港する「日戻り」のカツオが水揚げされます。



ホームページ

お食事処 なにわ

〒798-4110 南宇和郡愛南町御荘平城 3924-1 TEL: 0895-72-1411

定休日: 毎週火曜日

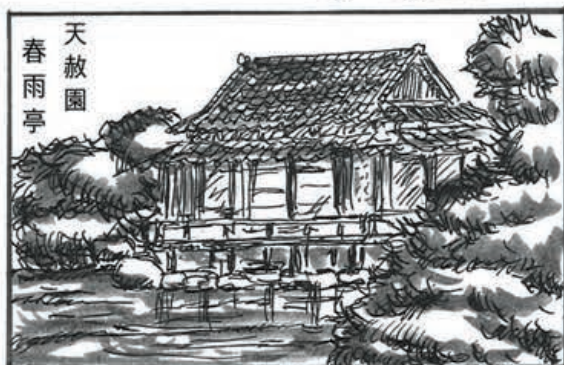
営業時間: 11:00 ~ 14:00 17:00 ~ 21:00 ※ラストオーダー 20:30

うわしん「南予活性化若手経営塾」とは、宇和島信用金庫において1年間、南予地域の産業活性化をはかるために創業者や2代目、3代目の若手経営者を育成し、企業経営体質の健全化・成長のためのセミナー・個別指導・異業種交流等をおこなっていて、地域内の中小企業の経営レベルを向上させる目的で開講されています。

きさいやくん 19

オザワヒロ

伝 伊達宗紀公 三



宇和島藩の財政改革を成し遂げ百歳の長寿を全うされた七代藩主伊達宗紀公が語ったというエピソードです。藩立て直しに汗を流しつつも、酒と遊びも大好きだった宗紀公に魅力を感じます。

作者プロフィール

本名 / 城内 章 1957年 宇和島生まれ 愛知県在住
宇和島南高等学校卒 職業 / 建設業
趣味 / 漫画イラスト作成
著書に「のらとおばあちゃんの虹」

Tosyu Hyappen

斗酒百篇



京ひな 祈り千年 純米大吟醸

アルコール度数 15 度

720ml 2,420 円 (税込) 1800ml 4,730 円 (税込)

酒六酒造株式会社 愛媛県喜多郡内子町内子

『奇跡のお米』

それは、天皇の祖神であり国民の総氏神とされる天照大御神に供えられる御料米を育てる伊勢神宮の神宮神田で偶然発見された『伊勢の光』です。1989年、二度の台風でほとんどの稲が倒れた中、奇跡的に立ち続けた二株が新たな品種だと判ったのです。まさに神の米『伊勢の光』の種もみを内子町で栽培し醸されたお酒がこの『京ひな 祈り千年』です。そして、今年、うれしいニュースが飛び込んできました。フランスで開催される和酒のコンテスト『クラマスター 2026』で部門最高賞のプラチナ賞を獲得したのです。しかも、9月に発表される決勝に進出しています。

穏やかですっきりとした綺麗なお酒をこの機会に味わってみて下さい。

たかむら酒の店

宇和島市神田川原 90 ☎ 0895-22-0624



<http://taka-sake.o.oo7.jp/>



※斗酒百篇（としゅひゃっぺん）とは たくさんの酒を飲みながら、たくさんの詩を作ること。 古代中国の唐の時代、数多くの詩を作った李白のことを杜甫が『飲中八仙歌』の中で褒め称えた言葉。 題字／矢間大蔵



個人で普通預金をお持ちのお客さまは
どなたでもご利用いただけます

まずアプリを登録

口座番号そのまま！スマホでカンタン登録！



口座開設時にご登録いただいた口座情報や
お客さま情報などを入力していただきます。

お客さま情報の入力

アプリの登録後できること

保有口座を最大5つまで登録
できます！

登録した口座を一
覧で確認でき、「紙
通帳」か、「通帳レ
ス」へ切替済かも
一目でわかります。



口座一覧

直近10回分の入出金明細が
見られます！

入出金明細をタッ
プすると詳細情報
も確認できます。



入出金明細照会

保有資産一覧が見られます！

各資産をタップすると詳細情報も確認でき
ます。



保有資産一覧

「通帳レス」への切替後について

最大10年間分の入出金
明細が見られます！

「通帳」のように見られ
ます。
総合口座の場合、総合口
座定期預金も閲覧可能
です。



入出金明細

検索・メモなど便利な管理機能も！

期間や金額で明細を検索
できます。
また、明細詳細にメモ情
報を書いたり、過去の明
細のファイルも保存でき
ます。



明細検索

ご留意いただきたい事項

「紙通帳」から「通帳レス」に切り替えた場合、これ
まで使用していた「紙通帳」はご使用いただけなくなり、ATMでの通帳を使用しなお取引（振替入金・定期
入金等）もご利用いただけません。

「紙通帳」から「通帳レス」に切り替えた場合、切
替前日以前の未記帳明細は、切替日の翌々日より、
「しんきん通帳アプリ」でご覧いただけます。
なお、記帳済みの入出金明細は、「しんきん通帳
アプリ」ではご覧いただけません。

届出いただいた紛失物を発見された場合や再発行を
行う場合、または届出の取消を行う場合は、ご来店
いただく必要があります。

「通帳レス」をご利用の口座を「紙通帳」へ戻す際
には、当金庫所定の通帳発行手数料がかかる場合が
あります。

ご登録時には口座番号が必要となります

店 番:

口座番号:

お問い合わせ先

■宇和島信用金庫

Tel. 0895-23-7000

(平日 9:00 ~ 17:00)



しんきん
通帳アプリ

iOS/Android 対応



ご利用
無料



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —



App Store
からダウンロード



Google Play
で手に入れよう



「つなぐ」は、こちらでどうぞ。

【宇和島】 ● 宇和島市（本庁、中央図書館、生涯学習センター、パフィオウわじま、中央公民館、市立宇和島病院、伊達博物館、歴史資料館）

● きさいや広場 ● シロシタ ● 福 DON ● 宇和島商工会議所 ● 沖内科クリニック ● かどや（駅前本店・弁天町店） ● ハイウェイレストラン宇和島
● 和日輔 ● 盛運汽船 ● 岩崎書店 ● 木屋旅館 ● はまゆう薬局 ● ひまわり薬局 ● J R 宇和島駅 ● べにばら画廊 ● アトリエぱれっと GARO.

【津 島】 ● 津島支所 ● 市立中央図書館 津島分館 ● 南楽園 ● 小野商店 【愛 南】 ● ゆらり内海 【鬼北町】 ● 奈良山等妙寺歴史交流館

【三 間】 ● 三間支所 ● 道の駅みま ● 畦地梅太郎記念美術館 【吉 田】 ● 吉田支所 ● 吉田公民館 ● 吉田図書館

【市街・県外】 ● J R 松山駅 ● 香川・愛媛 セとうち旬彩館（東京） ● 宇和島信用金庫各支店 他

「つなぐ」の発行は、新春号（1月）、春号（4月）、夏号（7月）、秋号（10月）です。

※「宇和島クラブ」協賛業者



宇和島信用金庫

— この街が好き、この街と未来を拓く —